

第3章 基本理念及び基本方針の設定

3-1 基本理念

下水道は、生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水*の解消、公共用水域*の水質保全等、健全なまちづくりに大きく貢献してきましたが、とりまく環境の変化を背景に、多様化していく要求に応える必要があります。加えて下水道ストックが増大し、施設の適正な維持管理*、老朽化対策、それに対応する費用を見越した安定的な下水道経営が求められる状況です。

更に高度な水質管理に基づく水環境の保全や地球温暖化防止を目指した省資源、省エネルギー対策も重要になってきています。近年、全国的な傾向として局所的な集中豪雨*による浸水被害が発生しています。また、東日本大震災での地震を教訓とし、災害リスクに備える意識もより高まっています。このように、下水道は多様化していく要求に対応すべく、多くの課題を抱えています。

一方、国や地方における厳しい財政状況や、人口減少・少子高齢化社会の到来等、下水道をとりまく状況は極めて厳しい中、持続型下水道として、これらの課題を解決しつつ、安全・安心なまちづくりを支えるインフラ施設として、都市の発展に貢献していくことが求められています。

このことから、今後の下水道事業における基本理念を以下のとおり定めることとしました。

【 基本理念 】

鎌倉の歴史ある都市環境を守り
安全で快適なまちづくりと良好な水環境の創出に貢献するとともに
資源の有効利用を図り
安定した下水道経営のもとで持続可能な事業を展開する



～下水道がつくる未来のくらしと環境～

3-2 基本方針

基本理念に基づいて計画的に課題を解決していくために、下水道事業の基本方針を維持管理*、整備、環境、経営の4本柱として示します。

それぞれの基本方針は、密接な関連性があり、互いに影響を受けていることから、ひとつの基本方針に限定した対応ではなく、一体的な対応を図っていくことが重要となります。

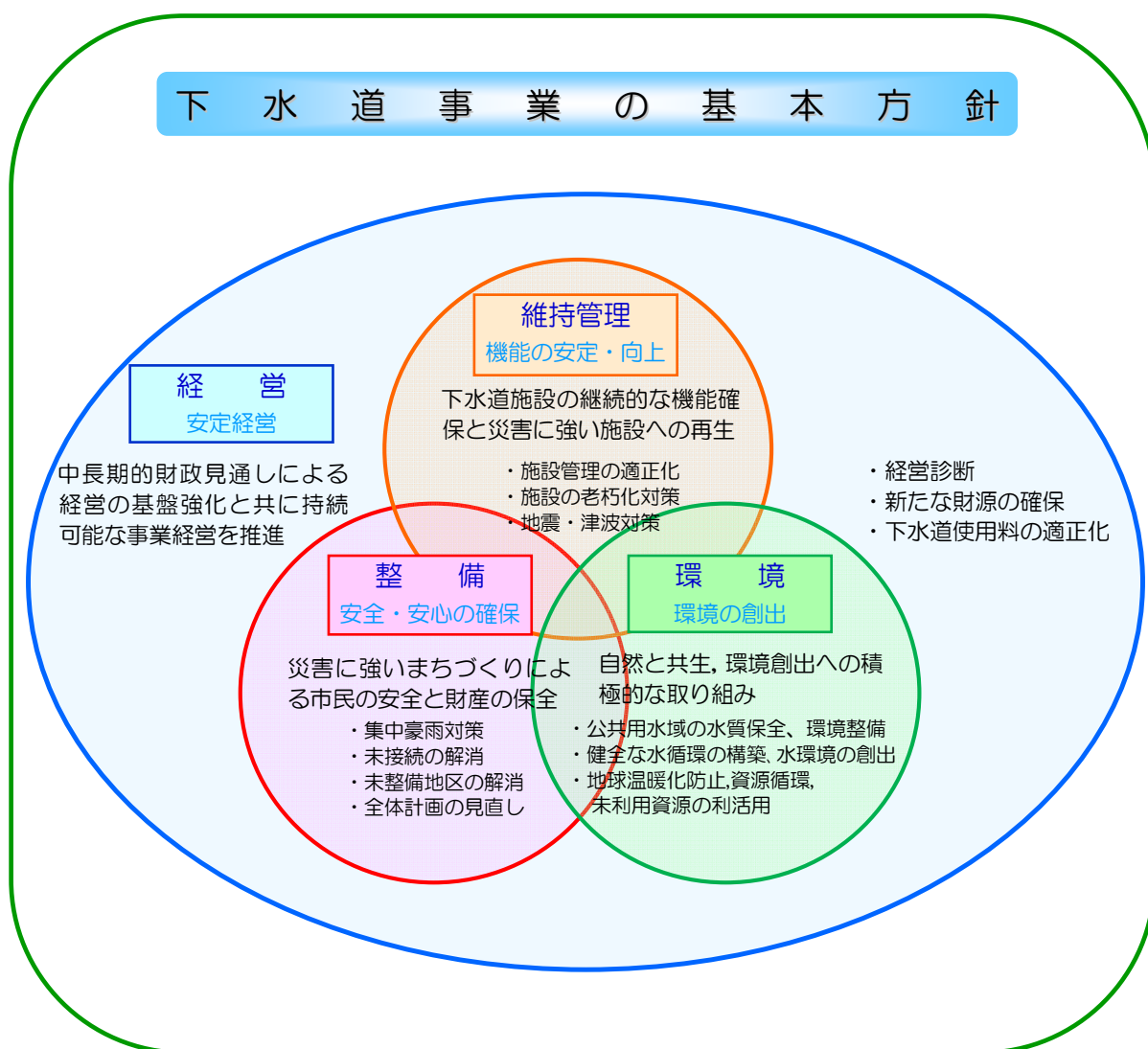


図3-1 鎌倉市下水道事業における基本方針